

土木工学科卒業生の活躍

皆さんの先輩にあたる土木工学科卒業生のOB・OGは、社会の様々な分野で活躍しています。その業種は、国土政策から都市計画、まちづくり、構造物の設計など幅広く、さらに専門性に特化した仕事など多岐に渡ります。先輩達は皆、土木工学科で学んだ知識と大切な仲間のネットワークを活かし、情熱を持って日々の仕事に取り組んでいます。

建設コンサルタント会社で主に橋梁設計に携わっています。業務では、橋梁だけでなく道路設計や河川設計などの知識も必要で、時に他分野との連携が必要となることが「土木の醍醐味」と感じています。大学時代には、土質力学と水理学に苦勞し、課題提出や試験前には、いつも夜遅くまで勉強していたことを思い出します。

石倉 昇さん

平成8年度卒業

(株)オリエンタルコンサルタンツ
平成9年度入社
九州支社社長



現在、「東京国際空港国際線地区エプロン等整備等事業」に携わっています。この事業は、公共施設の建設や維持管理、運営等を民間の資金や技術を活用して行う「PFI」という手法を用いて、土木分野では日本初の大型PFI事業として注目されています。大学時代に一番思い出に残っている講義は「測量実習」で、高さや距離を図り、始点と終点を一致させることの難しさが印象深く、この時に一緒に苦勞した仲間同士のコミュニケーションの大切さを学びました。

齊藤 かおるさん

大学院平成11年度修了

国土交通省関東地方整備局
平成12年度入省
東京空港整備事務所 建設管理官



後輩の皆さんへのメッセージ

今は、電算ソフトやCADが発達し、入力条件さえ満足すれば、それ相応の結果を出してくれるケースが多いと思います。省力化や効率化といった面では、大いに活用・発展させていくものではありませんが、妥当性の検証や特殊構造においては、「構造力学」や「土質力学」などの基礎知識が大変重要となります。そのため、大学の授業での知識習得が社会に出ても大変役に立ちます。また、大学時代の人脈形成やコミュニケーションもかけがえのないものとなりますので、勉強と遊びの両立を目指し、キャンパスライフを楽しんで下さい。

後輩の皆さんへのメッセージ

つきなみですが、土木という仕事は後世に形として残せる素敵な職業だと思います。また、土木の事業は、調査、計画、設計、施工といった多岐にわたる役割それぞれがつながって初めて一つの事業が完成します。役割に優劣などなく、一つ欠けても事業は成り立ちません。その一つの役割を自分が担うという喜びを、ぜひ皆さんにも味わってほしいと思います。

徳富 恭彦さん

大学院平成17年度修了

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
平成18年度入社
設計技術部 設計技術第一課
担当係長 PC設計グループ



新幹線や都市鉄道の建設などを通じて日本の交通ネットワークづくりを担い、まさに『鉄道をつくる』ことを仕事としています。現在、鋼構造の設計や施工に関する技術的指導、工事の基準やマニュアルを策定、技術開発の推進など、様々な取組みに従事しています。大学時代には、安全性と耐久性に関わる応用力学や地盤力学、土木材料学に興味を持ち熱心に取り組まれました。そこで学び養った応用力が、現在の実務でとても多く役立っています。

高岡 怜さん

平成21年度卒業

三井住友建設株式会社
平成22年度入社
土木本部 土木設計部
PC設計グループ



入社時には圏央道高架橋の現場監督、現在は新名神高速の橋梁設計などに携わってきました。大学で学んだ構造力学を活かしながら、三井住友建設が開発した世界でも珍しい「バタフライウェブ」という構造を活用した設計に携わるなど、日々刺激的な毎日を送っています。大学時代の講義では、演習を交えながらじっくりと学ぶことが出来た構造力学、実際に建設業に動められている外部の方による話を聞くことができたビジュアルスタディが思い出に残っています。

後輩の皆さんへのメッセージ

土木事業は国民の生活を変える大きな力を持ち、社会資本の充実を国民を豊かにする大きな要素だと思います。大学院1年の時に「つくばエクスプレス」の建設現場に行った時に、鉄道建設は高度な技術を駆使し土木技術者として果たすべき役割が大きいと感じ、大きな国家プロジェクトに是非携わりたいと思い、今の会社を選びました。社会に出て感じることは『日大土木のパワーは大きい!』ということです。皆さんも歴史と伝統ある本学科で学び、自己を高め、社会に羽ばたく人間に成長されることを期待します。

後輩の皆さんへのメッセージ

大学では、環境や材料、構造、耐震など、様々な講義を聴けるため、興味がわく内容を見つけるチャンスがたくさんあります。夢を見つけて、ぜひ日本や世界に貢献出来る技術者を目指してほしいと思います。また、学科内には同じ講義を受講し、日々成長していく仲間がいます。私も、学生時代にはたくさんの仲間を支えられ、一年を通してたくさんの思い出をつくりました。このつながりは今でも続いており、人生において貴重な出会いだったと思っています。仲間と夢を見つけ、思い出をつくり、有意義な学生生活を送ってください。